

第2回 教員免許更新制度の改善に係る検討会議
平成25年10月8日(火)

京都府教育委員会
教職員研修の仕組み

松 宮 功
(京都府総合教育センター)

内容

京都府の研修システム

- ・研修に対する考え方
- ・研修内容
- ・初任者研修・10年経験者研修との関連
- ・免許状更新講習との関連

<キーワード>

単位制履修制度

受講管理システム

受講履歴一覧表

「教師力」向上に関する検討委員会

平成17年3月 「『人・間中心』の京都づくり 5つのビジョン

平成18年7月 中教審答申「今後の教員養成、免許制度の在り方について

平成18年12月 改正教育基本法



「教師力」向上に関する検討委員会

平成19年6月

「教師力」向上のための指針
～新しい人材育成システムの構築に向けて～
(京都府教育委員会)

「教師力」向上のための指針

求められる京都府の教員像

1. 児童生徒に対する教育的愛情と、教職に対する使命感・情熱を持っていること。
2. 豊かな感性を持ち、明朗かつ健康で、人間的魅力にあふれていること。
3. 高い「授業力」を持ち、児童生徒に確かな学力をつけることができること。
4. 社会的良識と自ら学ぶ意欲を持ち、児童生徒や保護者、職場の同僚、地域の人から信頼されること。
5. 「ふるさと京都」への理解と愛情を深め、国際的な視点に立った教育を推進することができること。

研修体系の見直し

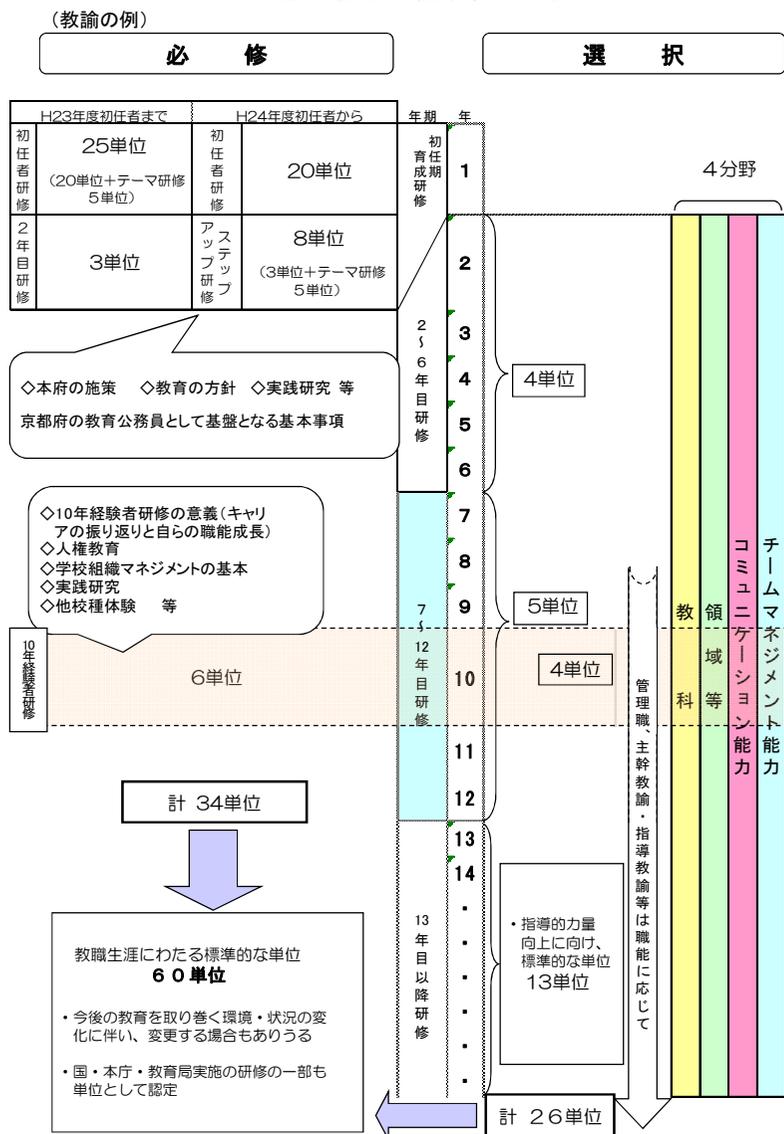
- ① 教員個々に応じた研修
- ② 現地現場性の重視
- ③ 人材育成力の結集

研修に対する教育現場の意見

1. キャリアや経験が多様であるのに、一律の「経年期研修」受講は疑問。(校長・教職員)
2. 現場が多忙な中、固定して実施される「経年期研修」の受講は困難。(校長・教職員)
3. 校内で対象者が複数になると受講しにくい。(校長・教職員)
4. 興味や関心に応じた研修を受講して視野を広げたい。(教職員)
5. 経験や力量、将来性、分掌に応じた受講を指導したい。(校長)
6. 教職生涯にわたる研修計画が必要。(校長・教職員)
7. 研修計画として標準的なものを示してほしい。(校長)
8. 自分の研究・研修スタイルがあるので、様々な機会に自己研鑽したい。(教職員)

単位制履修制度と受講管理システム

単位制履修制度早わかり表



平成25年3月〇日現在

研修履歴一覧表

職員番号	1234567	所属	〇〇立△△学校	在職年数	5
職名	教諭	氏名	京都 太郎	総単位数	33

研修等履修状況

初任研修	履修済	必修	25	10年経験者	履修	必修	選択
標準履修単位数	※	4	2~6年	必修	3	選択	3
				他研修	1		
				標準履修単位数	5	7~12年	選択
							他研修

※採用年度や職種により異なります。

センター研修 取得単位詳細

研修分野等	研修名	期間	備考	単位	合計
◎	講座	H22		1	1単位
	教科				
◎	講座	H23		1	1単位
	領域等				
◎	講座	H23		1	1単位
	コミュニケーション能力				
	講座			0	0単位
	チームマネジメント能力				
○	講座	H24		1	1単位
	法定研修外基本研修 指導者養成研修 特別研修 他				
4単位	0単位	0単位	0単位		4単位

センター研修以外の研修(他研修) 取得単位詳細

主催	所管	研修名	期間	備考	単位	合計
文部科学省	学校教育課	研修	H24	チームマネジメント能力 2~6年目研修	1	1単位

センター研修以外の研修(記載のみ)

主催	所管	研修名	期間	備考

講師履歴

主催	研修名	期間	備考
総合教育センター	講座		

単位制履修制度(1)

1. 教職生涯で60単位が目安。(法定研修を含む) 1単位=1回(1日)
2. 受講時期に幅を持たせ, 柔軟な履修を可能に。
3. 教職員個人の計画に沿った選択を可能に。

受講時期	単位数	必修	選択
1年目	20単位	20単位(初任者)	
2~6年目	12単位	8単位(2年目)	4単位* 免許状更新講習の読み替え可
7~12年目	15単位	6単位(10年経験者)	4単位(10年経験者), 5単位
13年目以降	13単位		13単位
単位数計	60単位	34単位	26単位

4. 総合教育センター以外で実施される研修の単位認定
 - ・免許状更新講習
 - ・国レベルの研修
 - ・本庁各課, 各教育事務所が実施する研修

単位制履修制度(2)

受講時期	単位数	必修	選択
1年目……1年間	20単位	●●●●●● ●●●●●● (初任者)	
2～6年目……5年間	12単位	●●●●● ●●●● (2年目)	●●●● 免許状更新講習の読み替え可
7～12年目……6年間	15単位	●●●●● ● (10年経験者)	●●●● + ●●●●●
13年目以降	13単位		●●●●● ●●●●● ●●●
単位数計	60単位	34単位	26単位

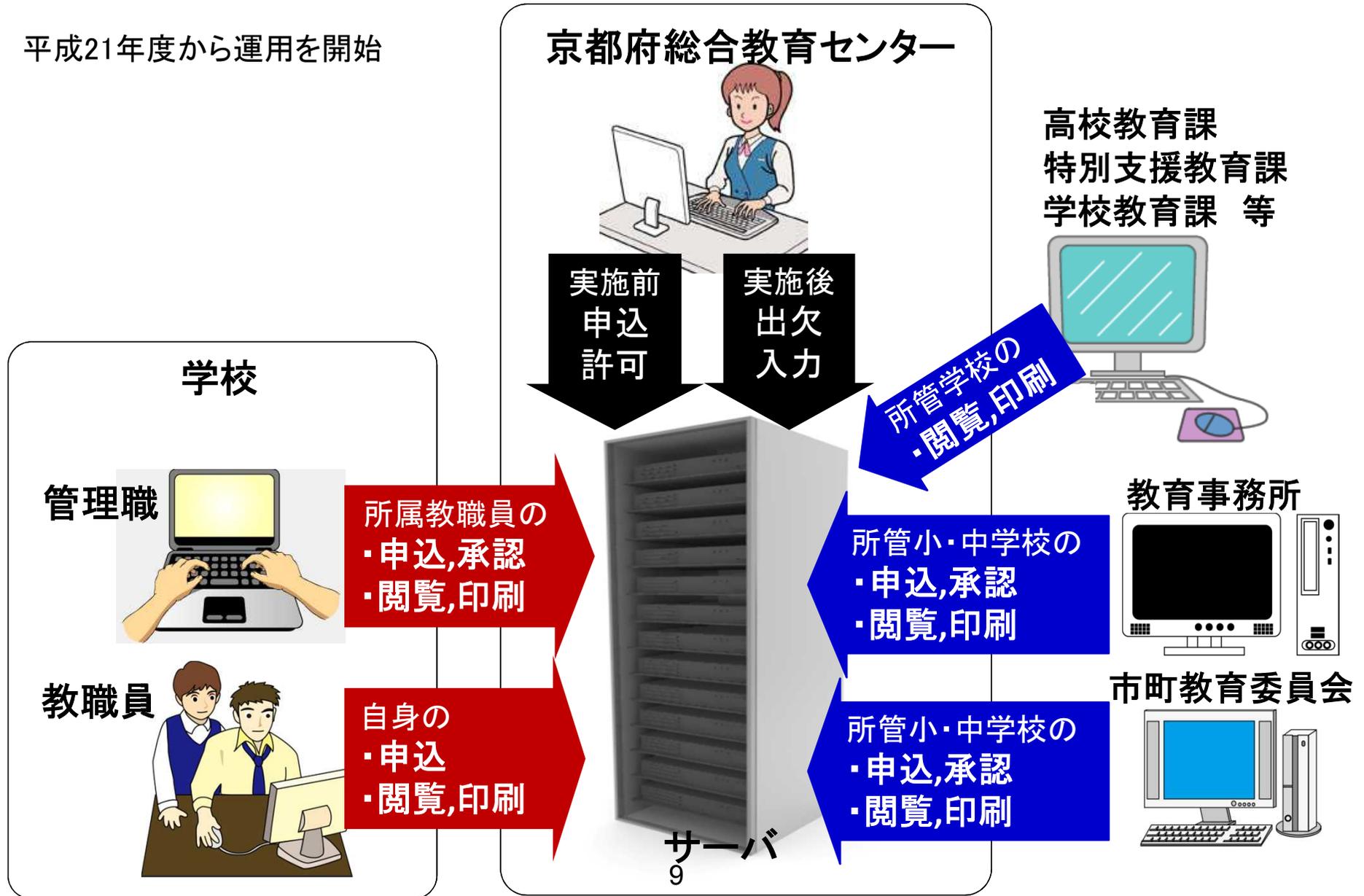
◆教職員の年齢や経験の多様化への対応

- ・グレード化, シリーズ化。
- ・教職員が受講したい研修を受講しやすく。
- ・校長が教職員に受講させたい研修を受講させやすく。

◆昇任条件とする講座の指定(教職員課)

京都府 受講管理システムのイメージ図

平成21年度から運用を開始



京都府 受講管理システムの概要

【 京都府 受講管理システム 】（平成21年度から運用）

- 教職員の研修履歴と研修講座申し込みを一体化して管理するプログラム(サーバ)
- 端末からネットワーク回線及びブラウザを使い、システムにログインして利用

	府立学校	市町立小・中学校
申込	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員が、希望講座をシステムに登録。管理職がこれを承認。 ・管理職が、所属職員の受講講座を追加することも可能。 	<p>現在は書面による申し込み。H26年度から以下の予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理職が、所属職員の受講希望講座をシステムに登録。 ・市町教育委員会が、システムを使い承認。 ・教育事務所が、システムを使い承認。
受講記録	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府総合教育センター担当者がシステムにて申し込みを許可することによって、講座ごとの受講者名簿が作成される。 ・講座実施後、センターの講座担当者がシステムを使い出欠を入力すると、個人の研修履歴一覧表に受講情報(講座名・単位数等)が記載される。 	
履歴閲覧	<p>管理職・教職員は、システムにログインして、随時研修履歴の閲覧・印刷が可能。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職・市町教育委員会の閲覧・印刷(予定:H25年度末)。 ・教職員の閲覧・印刷(予定:H26年度末)。 ・現在は、研修履歴一覧表をセンターが印刷して送付。
制限	<p>利用者ごとにログインIDとパスワードが異なり、申込機能・閲覧範囲に制限がかかる。</p>	

受講履歴一覧表

平成25年3月〇日現在

参考

研修履歴一覧表

職員番号	1234567	所属	〇〇立△△学校	在職年数	5
職名	教諭	氏名	京都 太郎	総単位数	33

研修等履修状況

初任研等	履修	必修	10年経験者	履修	必修	選択	標準履修単位数	※	4	標準履修単位数	5
済		25					2~6年	必修	選択	他研修	7~12年
								3	3	1	

※採用年度や職種により異なります。

センター研修 取得単位詳細

研修区分等	研修名	期間	備考	単位	合計
◎	講座	H22		1	1単位
◎	講座	H23		1	
◎	講座	H23		1	1単位
◎	講座	H23		1	
○	講座	H24		1	0単位
○	講座	H24		1	

4単位 0単位 0単位 0単位

センター研修以外の研修(他研修) 取得単位詳細

主権	所管	研修名	期間	備考	単位	合計
文部科学省	学校教育課	研修	H24		1	1単位

センター研修以外の研修(記載のみ)

主権	所管	研修名	期間	備考

講師履歴

主権	研修名	期間	備考
総合教育センター	講座		

講座講師の履歴を記載しています。(総合教育センター主催の研修のみ)

在職年数は、現在の職での他府県経験年数を含みます。
総単位数は、平成21年度からの取得単位の総計を記載しています。

下記の研修履歴状況(取得単位数)について記載しています。

- ・「初任研等」…初任者・新規採用者研修
- ・「10年経験者」…10年経験者研修
- ・「2~6年」…2年目研修(2年目教員ステップアップ研修)を含む、2~6年目研修
- ・「7~12年」…7~12年目研修

※「初任研等」、「10年経験者」には必要単位数を満たすと「履修」欄に「済」を記載しています。

※「2~6年」、「7~12年」の「標準履修単位数」を上欄に記載しています。

※「10年経験者」、「2~6年」、「7~12年」の「選択」欄には「センター研修 取得単位詳細」の「◎」の取得単位数を記載しています。(◎は該当当期選択外のため、「選択」欄の単位数には合計されません。)

※「2~6年」、「7~12年」の「他研修」欄には「センター研修以外の研修(他研修)取得単位詳細」の単位数を記載しています。(詳細は下記参照)

研修講座の選択履修状況について記載しています。

(注) 初任者・新規採用者研修、10年経験者研修、2年目研修(2年目教員ステップアップ研修)の必修講座については記載していません。

研修履歴状況を以下の4つの分類で確認できます。

- ・「初任研等」…初任者・新規採用者研修
- ・「10年経験者」…10年経験者研修
- ・「2~6年」…2~6年目研修
- ・「7~12年」…7~12年目研修
- ・「13年~等」…13年目以降の研修

※履修した講座について「◎」または「○」を記載しています。

※該当講座が「10年経験者」、「2~6年」、「7~12年」の選択講座の場合には「◎」を記載しています。

※選択講座以外や該当当期外の場合は「○」を記載しています。

センター研修講座と同様に単位を認定する国、府(平成22年度より)及び教育局主催(平成24年度より)の研修について記載しています。

センター研修以外の国及び府主催の研修について、研修等履修状況に単位加算しないものを平成22年度実施の研修から記載しています。